

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 麻生鳥のさえずり公園

第 29 号 2010年6月30日発行 発行；麻生多摩美の森の会

発行責任者；間野 洋 編集者；木村 信夫

春の自然観察会 - 多摩美の森の帰化植物 勝田 佳代子

今年の春の自然観察会は爽やかな風薫る4月25日の土曜日に行われました。多摩美の森の帰化植物がテーマです。

多摩美の森にはどれくらいの帰化植物があるのか、そして在来種はどんな状況にあるのか皆で見て歩きました。講師は自然観察指導員の高橋英さんです。

一般的に帰化植物とは江戸時代末期から現代にかけて意識的・無意識的に移入されたもので、現在では輸入牧草とともに無意識的に入って来るものが多いそうです。川崎市の帰化植物状況は、最も帰化率の高いのは川崎区で70%、最も低いのは麻生区の30%とのことで多摩美の森はどうなっているか、興味津津でスタートしました。主として80種の草花を対象に帰化種と在来種に分けてみました。

帰化植物で有名なセイタカアワダチソウやハルジオンなど抜いても抜いても生えて来ます。また、一見可憐な花を咲かせるセリバヒエンソウ、ハナカタバミ、ナガミヒナゲシなどもいつの間にか増えてしまいます。帰化植物は一般に猛烈な繁殖力を持っているのが困りものです。

貴重な在来種として、この森には、少ないながらミズタマソウ、アマドコロ、マルバコンロンソウなどがありました。

結果として多摩美の森の草花は

帰化率34%ということになりました。

樹木の帰化率については、シンジュやハリエンジュなど数本で、さすがにほとんど帰化種はありませんでした。

里山として緑地の保全・管理をする多摩美の森は、極力外来種の侵入・拡大を防ぎ、在来の植物を守っていかねばとの思いを新たにしました。

なお、この点に関連して、広場の外観を良くするための草刈りは、地面すれすれに行くと生長点が上部にある草はすべて切られてしまい、生長点が根元にあるイネ科の植物だけが残って単調な草地になってしまうとのことです。これは、在来種を守る点からも問題があるので注意しなければいけないという指摘がありました。



今年度の分科会活動のポイント

各分科会担当幹事

分科会の役割

総括 間野 洋

平成14年4月、当会設立時に4つの分科会（森づくり、畑の管理、施設工作、動植物調査）が設置されました。19年4月に広報分科会が新たに設置され、20年4月には森づくりと動植物調査を1分科会とし、現在は4つの分科会となっています。

分科会の役割は、市民健康の森の管理にあたっての基本理念である 里山の自然環境の保全と創造 健康とレクリエーションの場づくり 地域のコミュニティづくり、身近な防災拠点 行政との協働作業による段階的な成長 等に沿って管理計画を立て幹事会にはかり、幹事会において総括、調整して実際の活動に移すことです。

会員の皆様は何時でも、どの分科会にも参加可能です（会則 第10条）。ご自分なりの御意見を出して、活動に是非参加いただきたいと思います。

森づくり分科会 担当幹事 伊丹伸行

昨年に引き続き明治大学 M - Navi 里山ボランティアを招請し、協力して笹の刈り込み、他の作業を行う（5月8日実施済み、内容は次頁の川嶋先生の報告書参照）。

昨年1月に実施した笹林（鶯のお宿）の刈り込み後の萌芽更新状況を観察し、今後の管理方針を適切にフォローしていきます。

場内に散在する枯れ木を伐採し、また不必要な立木の枝を剪定します。

春の植物観察会は4月25日に実施した。秋には他の公園での観察会を検討中です。

畑の管理分科会 担当幹事 中谷一郎

5月下旬、前からの念願であったアワ、ヒエの種を入手し、初めての作付けを行いました。

アワ、ヒエは東アジア、中央アジア原産とされており、昔は米より主食だったと言われ、日本でも米より早くから栽培されていたそうです。成長すると高さは1～2mで形状は米の稲穂と異なります。その穂が黄色に熟し垂れ下がる様子を9月下旬の西生田小学校3年生の総合学習で観察してもらいたいと思います。大きく育つことを祈っています。

昨年の11月下旬に小麦、大麦、ビール麦を播種し、6月に刈取り、ハザ掛け（物干し乾燥）をしています。今年は昨年よりも多少収穫量は良いと思われませんが、脱穀が終わるまで予断は許されません。総合学習、植樹祭&収穫祭等に例年同様利用したいと思います。

施設工作分科会 担当幹事 大塚伊四郎

ヤマユリの保護柵を更新します。

カブトムシのお宿の更新。孟宗竹を組み合わせたお宿が朽ち始めたので、こもれびの会よりいただいた竹材を加工し同様のお宿を作り直します。

藤棚の下のベンチの更新。現在の丸太製の椅子腐ってきているので、4脚全てを新しい椅子にします。

排水路の整備。大雨時、遊歩道からコンクリート舗装の道路上を伝って流入する水を、笹藪の谷に誘導して流し出すため、埋もれているU字溝を活用して排水路を作ります。

広報分科会 担当幹事 木村信夫

会報および年度活動報告書は例年どおり発行予定です。

昨年秋より開始したホームページの作成は、慣れないこともあり開設が遅れています。近々開設出来るよう努力しておりますので、もう少しお待ち下さい。

明治大学里山ボランティアの報告

明治大学生田ボランティアセンター - 川嶋雅章

昨年に引き続き、学生支援GPによる明治大学 M-Navi プログラム里山ボランティアを麻生区市民健康の森で開催しました。昨年同様に、麻生多摩美の森の会の支援とともに、今回は、こもれびの会の皆様のご協力も得て実施することができました。また、コ・ディネーターの野牛さん（川崎市公園緑地協会）や、神奈川県森林インストラクターの清水さんを始め5名の方々に里山管理の技術的指導をしていただきました。一般参加学生11名、M-Navi 学生スタッフ3名、里山班学生スタッフ4名と教職員7名の計25名が参加しました。

今回は、森林インストラクターの指導のもと、カブトムシのお宿づくりのための竹の間伐と、昨年実施した北側の斜面の笹刈りを、2グループ4班に分かれ、午前と午後交代で管理作業を体験しました。竹の間伐は斜面ということもあり、初めて経験する人には難しい作業でしたが、枝払いと搬送まで行い、貴重な体験をすることができました。

作業後には、昨年は雨のため中止した市民健康の森の散策をしながら、それぞれの会の方々から1時間程度説明をしていただき、市民参加の里山管理や保全の実態を知ることができました。生田校舎から程近い所に、まだこのような自然が残っていることに参加者全員が驚いたようで、体験作業を通して貴重な経験をさせてもらいました。ご協力いただいた皆様に深く感謝します。



生物多様性の環境の場

麻生区役所道路公園センター整備課
担当課長 土田 勝也

4月に川崎市役所内の機構改革により北部公園事務所が市民活動拠点として身近な区役所に編入され、新たに麻生区役所道路公園センターとして効率的、効果的なサービスを提供できるよう、道路、河川及び公園緑地等を一体的に管理することになりました。

多摩美の森との関わりは、20年ほど前に周辺の宅地開発で提供された公園の検査立合いで訪れたことがあり、良好な斜面緑地が残されているというか、薄暗い森が残存しているという印象でした。また、よみうりランドを挟んだ多摩川側に15年ほど在住していた関係で、よみうりランド外周道路を週末になると車で通っていましたが、麻生区市民健康の森として活動が始まり、薄暗い森が明るい森に様変わりしていく様子を視界の端に感じておりました。

4月に皆様方の活動の場所である広場を訪れまして、立派な藤が咲いている藤棚に感動しました。また、草むらでガサガサ音がしたと思えば、ヘビが目の前を這い、足元を見るとカントウタンポポが咲いていて、多様な生物が存在している状態を改めて感じました。

2010年は国連の定めた国際生物多様性年であり、また、日本で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）などが開催される重要な年です。

多摩美の森については、環境学習の場、プレーパークの場、里山ボランティアの研修の場などと活用されており、さらに生物多様性の場としても充実した環境であると認識しております。

今年度から道路公園センターといたしましても、皆様方の協力を得て、協働推進に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

平林謙三氏のご逝去を悼んで

前会長 勝田政吾

前副会長の平林謙三さんがこの4月に亡くなられました。昨年7月に東久留米にお引越しをされましたが、その後も11月の植樹祭&収穫祭や植物観察会に参加して下さり、元気な姿を見せていただいていたので、全く意外、本当に信じられない思いでした。

平成11年に市民健康の森制度ができて同時に発足した構想検討委員会と、続く推進委員会に参加され、どんな施設に育て上げていくかの討議に積極的に指導的役割を果たされました。そして会が正式発足してからは本領発揮、事務局長としてすべての計画事務・庶務を引き受けて下さり会の円滑な運営に当たられました。会長の私なぞどれだけ助かったか言葉に尽くせないほどです。円満な常識家で経理に明るい上、技術方面や生物関係にも詳しく、本当に万能型の方でした。

平林さんなくしては会のここまでの順調な発展もあり得なかったと言ってよく、誠に哀惜の念に耐えないものがあります。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

緑のパートナーシップ賞を受賞

副会長 長澤

わが麻生区市民健康の森が、川崎市の第6回花と緑のコンクール緑地部門で「緑のパートナーシップ賞」を受賞しました。

第61回全国植樹祭が神奈川県で開催される(南足柄市、秦野市)のに先立って、5月16日川崎市生田緑地(バラ園)にサテライト会場が設置され植樹祭が実施されました。その会場において、日ごろの活動が、地域の方々、周辺の活動団体、行政などとのパートナーシップのもとに進めて、実績を上げていることが評価され、今回の受賞となりました。

今回の表彰は、「里山景観賞」が9団体、「緑のパートナーシップ賞」が5団体でした。

当日参加の皆さんご苦労様でした。

今後の活動予定

副会長 中谷一郎

今年の夏は天候不順の様で冷夏か猛暑か判りませんが、6月に植付けたサツマイモ、サトイモも自然に順応して、元気に育つと信じています。畑や森での作業に汗を流し、成長した藤棚の下での一服は最高の心地良さです。皆さん、ふるってご参加ください。

今後の活動予定は次のとおりです。

7月 3日(土) 麦の脱穀、ヤマユリの柵整備、カブト虫のお宿準備、草刈、清掃

7月17日(土) プレーパークへの協力

7月18日(日) 麦の脱穀、収穫、畑の準備、ソバの播種、多摩美八町会盆踊り会場の草刈

8月 7日(土) 草刈、畑の手入れ。夜は夏の天体観測および影絵(おと絵がたり絵巻)

8月15日(日) ソバの間引き、麦の脱穀

9月 4日(土) 草刈、畑の手入れ

9月19日(日) ヒエ、アワの収穫

9月29、30日(水)(木) 西生田小学校3年生の総合学習

10月にはサツマイモ、サトイモの収穫

11月には待望の植樹祭&収穫祭です

またこの間の補助作業日は第2・第4水曜日で、7月14日、28日、8月11日、25日、9月8日、22日です。6月~9月の4ヶ月の作業時間は9時~11時となります。

会員募集中です 一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わってください。年会費1,000円。

麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。

<http://www.city.kawasaki.jp/73/73tis/miryoku/sanka/mori.htm>

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

<問合せ・連絡先>

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcom.home.ne.jp

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com